

# 建築教育委員会の活動

**本委員会の目的：**

**建築教育に関して協議・研究・調査・発表・建議などを行い、建築教育の向上に寄与する。**

**2003年度から、従来の学校種別を中心とした小委員会構成を、研究目的別の構成に改め、次のような小委員会体制に再組織化した。**

# 建築教育委員会組織

## 建築教育本委員会

- 建築教育シンポジウム企画WG

建築教育研究小委員会

建築教育制度小委員会

建築教育技術小委員会

継続教育小委員会

技術技能教育小委員会

市民・子ども教育小委員会

工高教育小委員会

# 2004年度の活動

**2004年度大会建築教育部門PD:**

**「キャリア形成から学ぶ継続学習のあり方」.**

**2004年度大会研究懇談会:**

**「グローバル化時代に通用する建築教育の条件を考える」.**

**第5回 建築教育シンポジウム:**

**「社会に出てからの一般教育と専門教育 - 先進的な取組みを通して」.**

**第35回工業高校建築教育研修会(工高教育小委員会).**

**ものづくり教育シンポジウム2004:**

**「<ものづくり教育>の新たな地平をめざして」(技術技能教育小委員会)**

**PD:**

**キャリア形成から学ぶ継続学習のあり方。**

**建築家、ゼネコン人事部門担当者、  
職人・棟梁、事業家・企業家の  
それぞれの立場からのキャリア形成を  
を報告し、今後の建築教育、継続教育  
のあり方を議論した。**

**研究懇談会：  
グローバル化時代に通用する建築  
教育の条件を考える。**

**UIA基準の求めている5年以上の設計教育  
への対応から、設計分野においては、  
大学院を含む6年制教育プログラムを  
構築する必要がある。**

**この教育プログラムの構築と倫理教育に  
ついての主題解説ののち、議論を行った。**

# 2004年度の活動(小委員会)

## 建築教育研究小委員会

進路調査結果の検討と報告書の作成。  
シラバスの収集。

## 建築教育制度小委員会

2004年度研究懇談会の企画・資料集発行。  
第5回建築教育シンポジウムの論文集の編集担当。  
大学院における設計教育のアンケート準備。

## 建築教育技術小委員会

カリキュラムとシラバスの収集。  
計画系教育の実態分析。

## **2004年度の活動(小委員会)( )**

### **継続教育小委員会**

**建築雑誌4月号に、**

**「キャリア開発ー動き出した継続教育の行方」を投稿。**

**キャリア形成に関するアンケート調査準備。**

**「2004年度PD」企画。**

### **技術技能教育小委員会**

**『ものづくり教育の新たな地平をめざして』を作成。**

**「ものづくり教育シンポジウム2004」を開催。**

### **市民・子ども教育小委員会**

**人工環境教育に関する事例調査、実態調査。**

**「親と子の都市と建築講座」の分類と分析。**

## **2004年度の活動(小委員会)( )**

### **工高教育小委員会**

**生徒の意識調査と採用企業へのアンケート。  
卒業生の進路動向調査のためのアンケート準備。  
工業高校建築教育研修会の実施。**